

経営比較分析表（令和元年度決算）

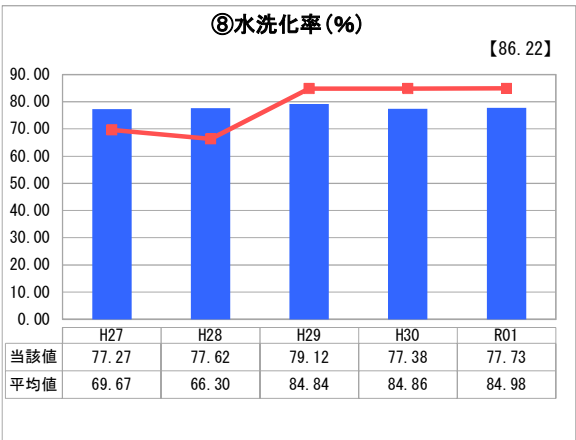
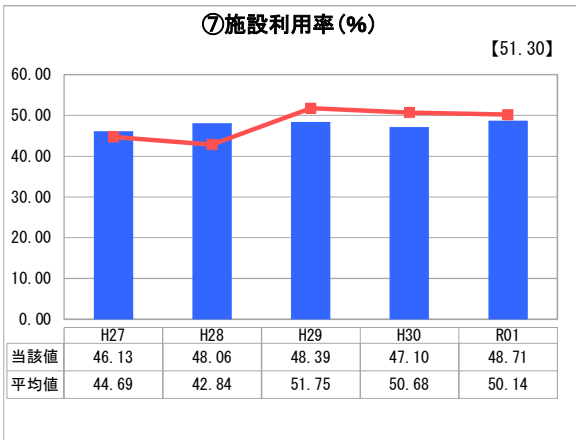
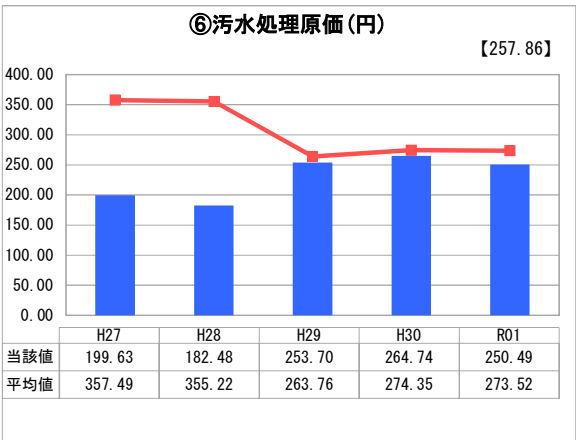
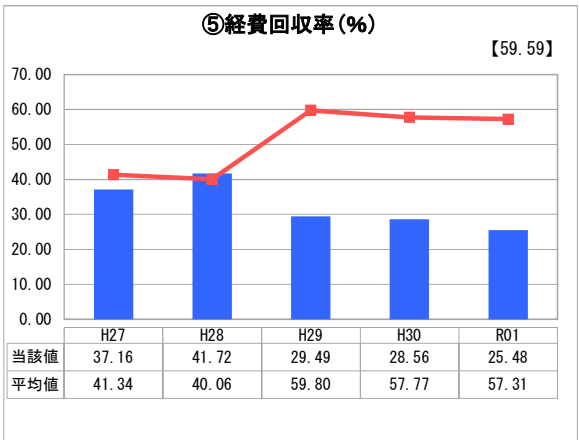
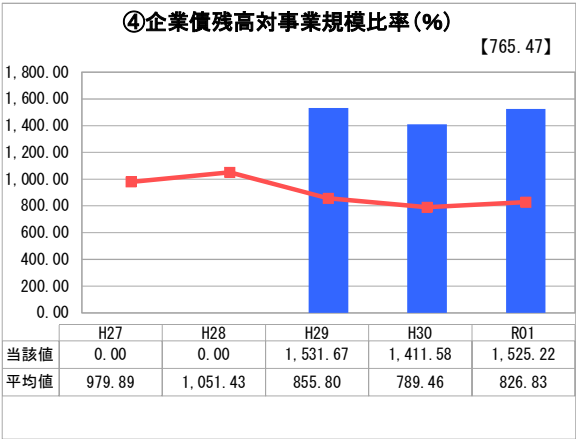
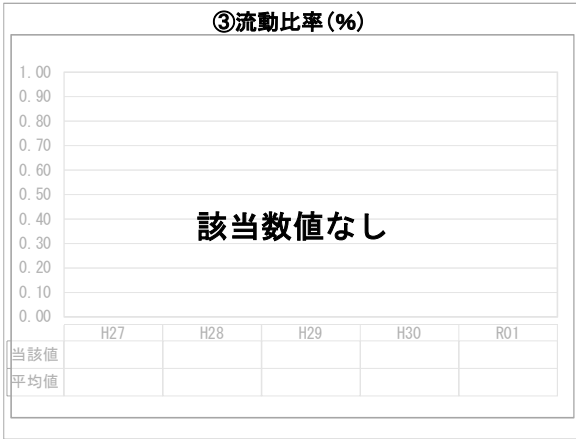
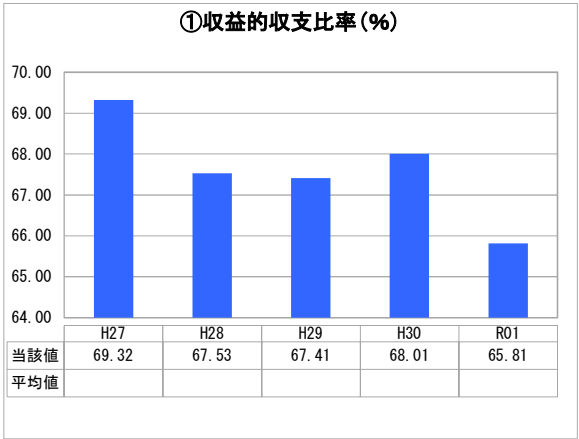
沖縄県 南風原町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.11	93.63	1,342

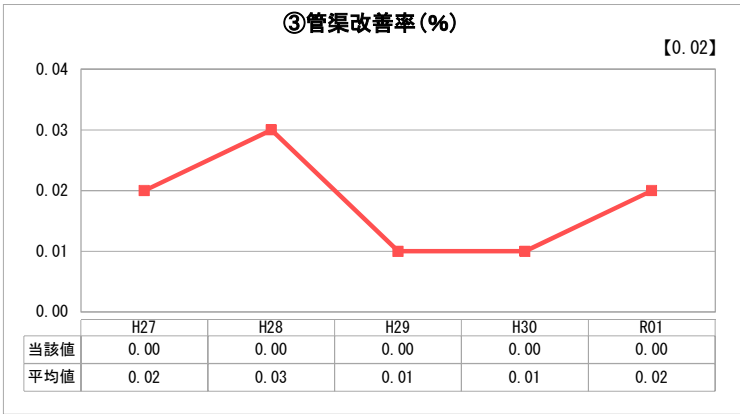
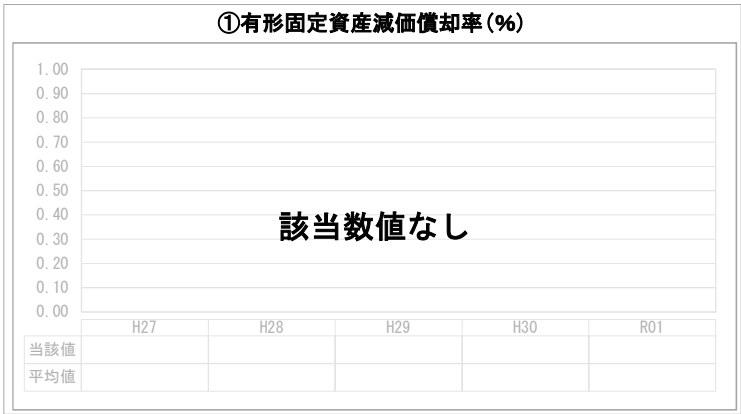
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
39,909	10.76	3,709.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
844	0.34	2,482.35

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率：総収益については、今年度は、公営企業会計移行で3月打ち切りのため、前年度より赤字を示す傾向にある。健全な経営のために、下水道使用料と支出の見直しの検討を行う必要がある。

④企業債残高対事業規模比率：当該数値は前年に比べ僅かに増加している。類似団体平均値との比較でも、平均値を大幅に上まわっており、使用料収入に対する企業債残高の割合が大きくなっていることを示しており、今後の経営改善を図っていく必要がある。

⑤経費回収率：下水道使用料は毎年ほぼ一定である。が、今年度は公営企業会計移行で3月打ち切りのため、昨年より低く、使用料で経費を回収できていない状況が示されている。

⑥污水处理原価：前年と比べると僅かに減少しているが、類似団体の平均値と比べても平均値より低い値を示しており、効率的な污水处理が実施されていると考えられる。

⑦施設利用率：施設利用率は他団体と比べて平均的な利用率となっており、これから、接続が増加しても対応可能な状況である。

⑧水洗化率：本事業地域は、人口増加がみられない地域であり、当該値は前年に比べて平均値を僅かに下回っている。持続可能な事業の運営に向けて検討が必要である。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率：本年度の本町の数値は示されていないが、現在までのところ老朽化による問題は生じていない。引き続き、適正な維持管理を進めていく必要がある。

全体総括

農業集落排水施設は、供用開始が平成14年度であり15年以上が経過しており、今後、施設の維持管理に係る負担等も増えることが見込まれる。これからの持続可能な事業の運営に向けて検討していく必要がある。